

作成日 : 2014 年 6 月 13 日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : ジウロン水和剤  
 会社名 : OATアグリオ株式会社  
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階  
 担当部署 : 品質保証部  
 電話 : 088(684)0220  
 FAX : 088(686)7055  
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0262(事業推進部)  
 整理番号(SDS No.) : OAT0132-5

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

## 物理化学的危険性

|          |     |
|----------|-----|
| 可燃性固体    | 区分外 |
| 自然発火性固体  | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 区分外 |

## 健康に対する有害性

|                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 急性毒性(経口)        | 区分外                    |
| 急性毒性(経皮)        | 区分外                    |
| 皮膚腐食性・刺激性       | 区分外                    |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分外                    |
| 皮膚感作性           | 区分 1                   |
| 発がん性            | 区分 1                   |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露)  | 区分 1(呼吸器系)、区分 3(気道刺激性) |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露)  | 区分 1(呼吸器系、腎臓)、区分 2(血液) |

## 環境に対する有害性

|           |      |
|-----------|------|
| 水生環境急性有害性 | 区分 1 |
| 水生環境慢性有害性 | 区分 1 |

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

## GHS ラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

## 危険有害性情報

## 危険

|                       |      |
|-----------------------|------|
| アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ     | H317 |
| 呼吸器への刺激のおそれ           | H335 |
| 発がんのおそれ               | H350 |
| 呼吸器系の障害               | H370 |
| 長期又は反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害 | H372 |
| 長期又は反復暴露による血液の障害のおそれ  | H373 |
| 水生生物に非常に強い毒性          | H400 |
| 長期継続的影響により水生生物に強い毒性   | H410 |

## 注意書き

## 【安全対策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。(P201)  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)  
 粉塵／ヒュームを吸入しないこと。(P260)  
 取扱い後はよく手をよく洗うこと。(P264)  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)

必要な時以外は環境への放出を避けること。(P273)

保護手袋／保護衣を着用すること。(P280)

#### 【応急措置】

皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

暴露または暴露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。(P308+P313)

気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。(P314)

特別な処置が必要である。(この MSDS の 4. 応急措置を参照) (P321)

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。(P333+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

漏出物を回収すること。(P391)

#### 【保管】

換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

施錠して保管すること。(P405)

#### 【廃棄】

内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体  
が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること。(P501)

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名(又は一般名) : DCMU 水和剤(除草剤)

| 成分名                                           | 含有量(%) | CAS No.    | 化審法番号    | 安衛法番号    |
|-----------------------------------------------|--------|------------|----------|----------|
| 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素<br>(別名:ジウロン、DCMU) | 80.0   | 330-54-1   | (3)-2194 | (3)-2194 |
| シリカ(結晶質シリカを含む)                                | ≤12    | 14808-60-7 | 1-548    | 1-548    |
| 鉍物質微粉等                                        | 残量     | -          | -        | -        |

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

直ちに空気の清浄な場所に移動させる。

横にさせて安静にさせる。

呼吸困難を訴える場合には酸素を吸入させる。

いずれの場合にも、速やかに医療処置を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら石鹼を使って十分に洗浄する。

異常が認められる場合には医師の診断を受ける。

汚れた衣類は再使用の前に洗濯しておく。

#### 目に入った場合

速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行い、眼科医の診断を受ける。

洗眼は瞼を指で開いてすみずみまで行う。

#### 飲み込んだ場合

直ちに水で口腔内を洗浄する。

コップ 1～2 杯の水を飲ませ、胃中のものを吐き出させる。

速やかに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

泡、粉末、炭酸ガス消火器、大量の水、乾燥砂

#### 火災時の特定危険有害性

本品は難燃性であるが、着火した場合には、塩化水素、一酸化炭素、窒素酸化物などの有毒なガスが発生するおそれがある。

#### 特定の消火方法

放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要。

周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全に行える場合に限り火災場所から搬出する。

移動不可能の場合には、容器に注水して冷却する。

## 消火を行う者の保護

必ず自給式呼吸器と適切な保護服を着用して風上より消火を行う。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項

適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して、風上で作業する。

眼や皮膚との接触は避ける。

屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

## 環境に対する注意事項

本品は魚介類に対して強く作用するため、河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

## 除去方法

粉塵がたたないように注意して、可能な限り密閉可能な容器に回収する。

残渣は濡れ雑巾等で拭き取るか、漏洩箇所を大量の水で洗浄する。

本品を拭き取った布等は、製造業者に処理を委託するか、少量であれば焼却する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

## 取扱い

暴露防止の為に必ず適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して取り扱う。

粉塵の吸入、皮膚や眼への接触、及び経口摂取は避ける。

作業後には必ず手や顔を十分に洗浄する。

屋内で取り扱う場合は、換気を適切に行う。

## 保管

吸湿を避け容器を密封し、冷暗所、通気の良いところに保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 設備対策

屋内で使用する場合には、作業場の換気を行う。

## 管理濃度・許容濃度

| 化学名又は一般名         | 管理濃度(厚生労働省)                                   | 許容濃度(産衛学会) <sup>1)</sup>                                                                                   | ACGIH                              |
|------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| ジウロン             | -                                             | -                                                                                                          | TWA<br>10 mg/m <sup>3</sup>        |
| シリカ(結晶質シリカ、トリポリ) | 0.20 mg/m <sup>3</sup> (遊離珪酸含有率 12%の鉱物の粉塵として) | 吸入性結晶質シリカ<br>0.03 mg/m <sup>3</sup><br>鉱物質微粉<br>吸入性粉塵: 0.5 mg/m <sup>3</sup> 、<br>総粉塵: 2 mg/m <sup>3</sup> | TWA<br>0.025 mg/m <sup>3</sup> (R) |

## 保護具

呼吸器用の保護具 : 防塵マスク

手の保護具 : ゴム手袋

目の保護具 : 保護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣及び長靴、ゴム前掛け

## 適切な衛生対策

作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。

的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

作業着は再使用の前に洗濯する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的状態

形状 : 粉末

色 : 類白色

臭い : 僅かな特異臭

pH : 5.0~7.0(1%)

## 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし

融点/凝固点 : データなし

分解温度 : データなし

引火点 : データなし

発火点 : データなし

蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
比重/密度 : データなし  
溶解性  
水に対する溶解性 : 不溶  
オクタノール／水分配係数(log Pow) : データなし

#### 10. 安定性及び反応性

##### 安定性

通常の保管条件では安定。

##### 反応性

酸、アルカリにより加水分解され、3,4-ジクロロアニリン、ジメチルアミンを生成する。

##### 避けるべき条件

危険な反応の原因となる条件は知られていない。

##### 避けるべき材料

酸、アルカリ

##### 危険有害な分解生成物

燃焼時には塩化水素、一酸化炭素、窒素酸化物等有毒なガスが発生するおそれがある。

#### 11. 有害性情報

##### 急性毒性

経口 LD<sub>50</sub> : ♂ 2800 mg/kg, ♀ 3500 mg/kg(ラット)  
LD<sub>50</sub> : ♂ 4400 mg/kg, ♀ 3600 mg/kg(マウス)  
経皮 LD<sub>50</sub> : ♂ ♀ >7000 mg/kg(ラット)

##### 皮膚腐食性・刺激性

皮膚一次刺激性 : 刺激性なし(ウサギ)

##### 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

刺激性なし(ウサギ)

##### 皮膚感作性

Maximization 法 : 陽性(モルモット)

##### 発がん性

区分 1A に分類される結晶質シリカをカットオフ値以上含有するため区分 1 とした。

##### 特定標的臓器毒性(単回暴露)

区分 1(呼吸器系)に分類される結晶質シリカをカットオフ値以上含有するため区分 1 とした。

区分 3(気道刺激性)に分類されるジウロンをカットオフ値以上含有するため区分 3 とした。

##### 特定標的臓器毒性(反復暴露)

区分 2(血液)に分類されるジウロンをカットオフ値以上含有するため区分 2(血液)とした。

区分 1(呼吸器系、腎臓)に分類される結晶質シリカをカットオフ値以上含有するため区分 1(呼吸器系、腎臓)とした。

#### 12. 環境影響情報

##### 残留性／分解性

ジウロン;急速分解性なし(BOD による分解度 0%)

##### 生態毒性

LC<sub>50</sub>(96 時間) : 28 mg/L(コイ)  
EC<sub>50</sub>(48 時間) : 12 mg/L(ミジンコ)  
ErC<sub>50</sub>(0-72 時間) : 0.017 mg/L(藻類;緑藻)

#### 13. 廃棄上の注意

少量ずつ焼却炉で焼却する。焼却に使用する焼却炉はスクラバーを装備したものが好ましい。  
知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国連番号、国連分類

番号 : 未評価  
クラス : 未評価

##### 輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないよう積み込む。

容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。  
容器は乱暴に取扱わない。

#### 15. 適用法令

|                 |                                                     |
|-----------------|-----------------------------------------------------|
| 農薬取締法           | 登録番号 第 21109 号                                      |
| 毒物及び劇物取締法       | 非該当                                                 |
| 労働安全衛生法         | 名称等を通知すべき有害物<br>No. 249 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素 |
| 化学物質管理促進法(PRTR) | 第一種指定化学物質<br>No. 169 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素    |
| 船舶安全法           | 未評価                                                 |

#### 16. その他の情報

##### 参考文献

- 1) 産業衛生学雑誌, 52, 221(2010)

#### 連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

| 中毒 110 番                | 一般市民専用電話<br>(情報提供料: 無料) | 医療機関専用有料電話<br>(情報提供料: 1 件 2000 円) |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------------------|
| 大阪<br>(365 日、24 時間対応)   | 072-727-2499            | 072-726-9923                      |
| つくば<br>(365 日、9~21 時対応) | 029-852-9999            | 029-851-9999                      |

#### 責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。